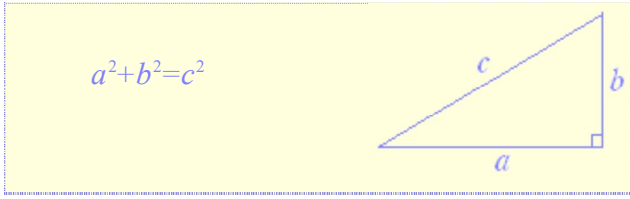


== 三平方の定理 ==

《解説》

○ 右図のような直角三角形の辺の長さについては、

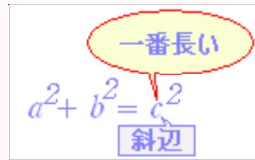


が成り立ちます。これを「三平方の定理」といいます。

見かけ上「斜めに見える辺」が斜辺なのではない
「直角の向かい側」にある辺＝「一番長い辺」が斜辺

【注意】

- × 見かけ上「斜めに見える辺」が斜辺なのではない
- 「直角の向かい側」にある辺＝「一番長い辺」が斜辺



斜めに見えるものが斜辺なのではなく、直角に対して斜めになっているのが斜辺なのだ

[例1]

直角をはさむ2辺の長さが与えられると斜辺の長さが求まります。

$$3^2 + 2^2 = x^2$$

$$9 + 4 = x^2$$

$$x^2 = 13 \leftarrow \text{これはまだ答ではない}$$

$$x > 0 \text{ だから } x = \sqrt{13} \dots (\text{答})$$



[例3]

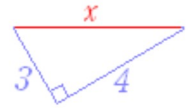
直角三角形が回転されているときは、直角の対辺(直角の向かい側)が一番長いことに注意して解きます。

$$x^2 = 3^2 + 4^2$$

$$x^2 = 9 + 16$$

$$x^2 = 25 \leftarrow \text{これはまだ答ではない}$$

$$x > 0 \text{ だから } x = 5 \dots (\text{答})$$



[例2]

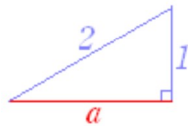
斜辺と他の1辺が与えられたと残りの1辺の長さが求まります。

$$a^2 + 1^2 = 2^2$$

$$a^2 + 1 = 4$$

$$a^2 = 3 \leftarrow \text{これはまだ答ではない}$$

$$a > 0 \text{ だから } a = \sqrt{3} \dots (\text{答})$$



[例4]

辺の長さが根号で表わされているときは、2乗の値に注意して解きます。

$$(\sqrt{5})^2 + b^2 = (2\sqrt{2})^2$$

$$5 + b^2 = 8$$

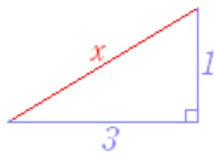
$$b^2 = 3$$

$$b > 0 \text{ だから } b = \sqrt{3} \dots (\text{答})$$



《問題》 次の辺の長さを求めなさい。

第1問



$$x = \sqrt{\square}$$

採点する やり直す

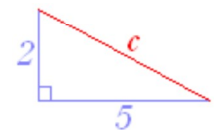
第2問



$$a = \sqrt{\square}$$

採点する やり直す

第3問

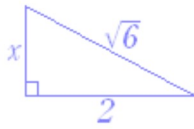


$$c = \sqrt{\square}$$

採点する やり直す

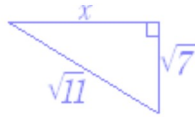
第4問

$$x = \sqrt{\square}$$



採点する やり直す

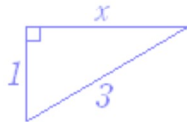
第5問



$$x = \square$$

採点する やり直す

第6問



$$x = \square \sqrt{\square}$$

採点する やり直す

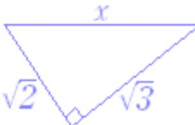
第7問



$$x = \square \sqrt{\square}$$

採点する やり直す

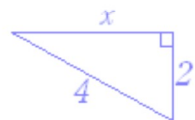
第8問



$$x = \sqrt{\square}$$

採点する やり直す

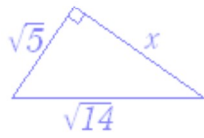
第9問



$$x = \square \sqrt{\square}$$

採点する やり直す

第10問



$x = \square$

[採点する](#) [やり直す](#)